

今週（1月12日から1月16日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き調達ニーズが堅調に見られるなか、出合いの水準は0.727～0.728%が中心となった。加重平均レートは、週を通して0.727%で推移し、16日(金)も概ね同水準での取引が中心となった。

ターム物は、ショートタームにおいて付利金利以下での引き合いが見られた。また、ロングタームでは3Mより長い期間での引き合いも散見された。

日銀当座預金残高は、週初465兆円程度からスタートし、15日(木)には源泉税揚げや国債発行により462兆円程度まで減少したが、その後は国債買入オペなどにより463兆円程度での着地見込みとなった。

●債券レポ市場

今週のGC O/N物は0.745～0.755%近辺で推移した。

SC取引の個別銘柄では、2Y470～480回、5Y170～183回、10Y360～381回、20Y180～194回、30Y70～89回、40Y13～18回などで引合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーン、1Yゾーンが弱含みで推移した。

16日(金)に実施された3M物入札は事前予想対比で無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーでは小じっかりで推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、不動産、卸売、石油などの業態で大型発行が見られた。

市場残高は、24兆円台後半から増加する形で推移し、15日(木)には25兆円台後半となった。

発行レートは0.75%以上で推移し、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
1/12 (月)						
1/13 (火)	53,549.16	2.160	158.24	0.727	0.749	4,656,500
1/14 (水)	54,341.23	2.180	159.20	0.727	0.750	4,641,100
1/15 (木)	54,110.50	2.160	158.50	0.727	0.749	4,621,400
1/16 (金)	53,936.17	2.180	158.20	0.727	0.750	4,635,900

来週（1月19日から1月23日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
1/19 (月)	11月の機械受注統計調査 11月の石油等消費動態統計 11月の第3次産業活動指数	TDB1Y 1/20 発行 33,000億円			12月のユーロ圏消費者物価指数改訂値 NY祝日(Birthday of Martin Luther King,Jr)
1/20 (火)			20Y 1/21発行 8,000億円		
1/21 (水)					9・10月の米建設支出 12月の英消費者物価指数
1/22 (木)	日銀金融政策決定会合(1日目) 12月の貿易統計	TDB3M 1/26発行 47,000億円	流動性供給 1/23発行 7,000億円	交付税借入 1/30借入 13,000億円	7-9月期の米GDP改定値 10・11月の米個人消費・所得支出(PCE)
1/23 (金)	日銀金融政策決定会合(2日目) 展望レポート 日銀総裁定例記者会見 12月の全国消費者物価指数 11月のサービス産業動態統計速報				

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
1/19 (月) 日銀予想	1,300	▲ 12,400	▲ 11,100	国債補完	2,300		2,300	▲ 8,800	
1/20 (火) 弊社予想	2,000	2,000	4,000				0	4,000	TDB1Y発行▲33,000 償還32,000 エネルギー対策借入▲7,500 期日7,400
1/21 (水) 弊社予想	1,500	▲ 14,000	▲ 12,500	全店共通	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 20,500	20Y発行▲8,000
1/22 (木) 弊社予想	1,000	▲ 1,000	0				0	0	
1/23 (金) 弊社予想	▲ 500	▲ 7,000	▲ 7,500				0	▲ 7,500	流動性供給▲7,000 交付税借入▲13,000 期日11,000
週 間 合 計	5,300	▲ 32,400	▲ 27,100	—	▲ 5,700	0	▲ 5,700	▲ 32,800	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、概ね0.727%程度での推移が予想される。債券レポ GC T/N物のレートは0.74～0.75%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、19日(月)に1Y物、22日(木)に3M物入札が予定されている。CP市場では、22日(木)～23日(金)に日銀金融政策決定会合が予定されており、利上げの織り込みは薄いものの、今後の金利の動向やそれに伴うレート形成が注目される。

主要なイベントは、国内では、22日(木)～23日(金)に日銀金融政策決定会合、23日(金)に12月の全国消費者物価指数、海外では、19日(月)に12月のユーロ圏消費者物価指数改訂値、22日(水)に7-9月期の米GDP改訂値、10・11月の米個人消費・所得支出(PCE)などの公表が予定されている。

(※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。)

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。